

島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果について (令和5年10月～令和6年9月)

島根県原子力環境センター

1. 環境放射線等調査結果

調査結果を検討・評価したところ、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

(1) 空間放射線（放射線量率）

全ての監視地点で平常の変動幅（上限）を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水・降雪等によるもので、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

(2) 環境試料中の放射能

大気浮遊塵、農産物、原乳、海産生物等の試料について核種分析を行ったところ、一部の試料から過去の大気圏内核実験等によるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

2. 温排水調査結果

水温（沿岸定点、格子状定線、沖合定線）等の調査項目ごとに温排水の影響に関する詳細な検討を行ったところ、温排水に起因する特異な状況は認められませんでした。

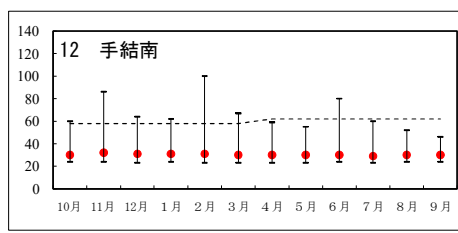
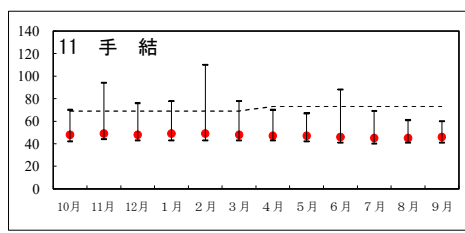
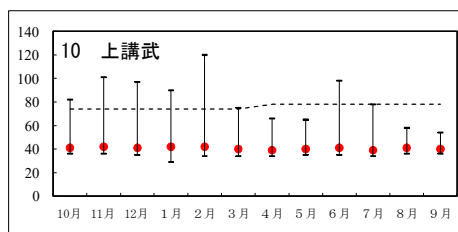
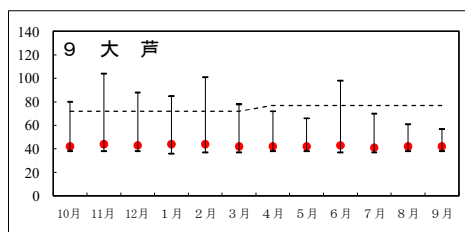
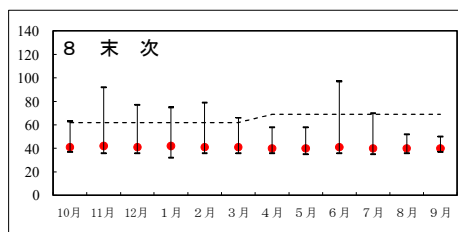
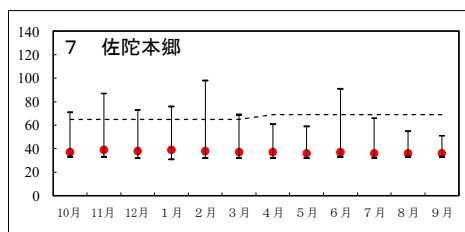
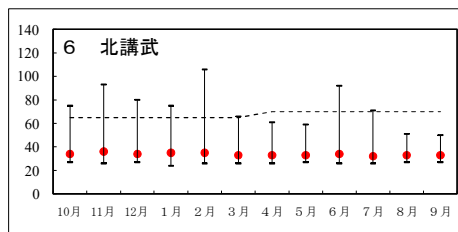
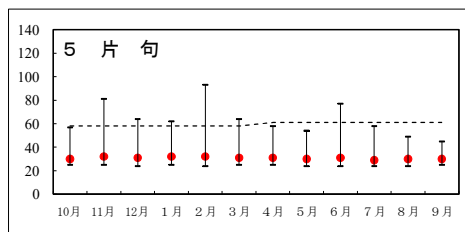
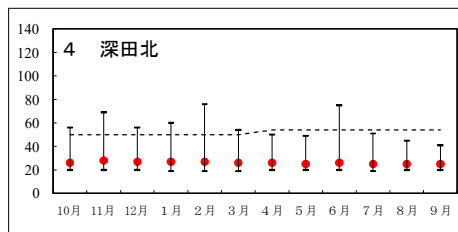
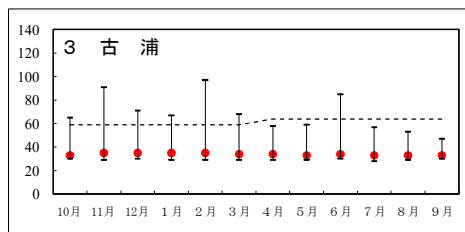
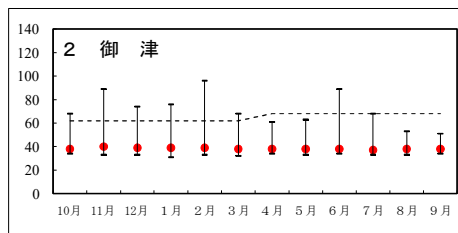
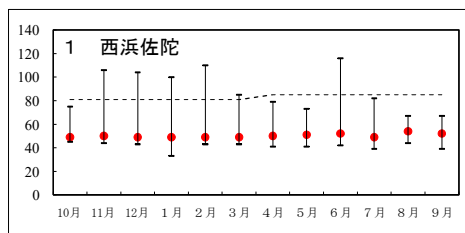
島根原子力発電所周辺環境放射線等調査結果の概要
[令和5年10月～令和6年9月調査結果]

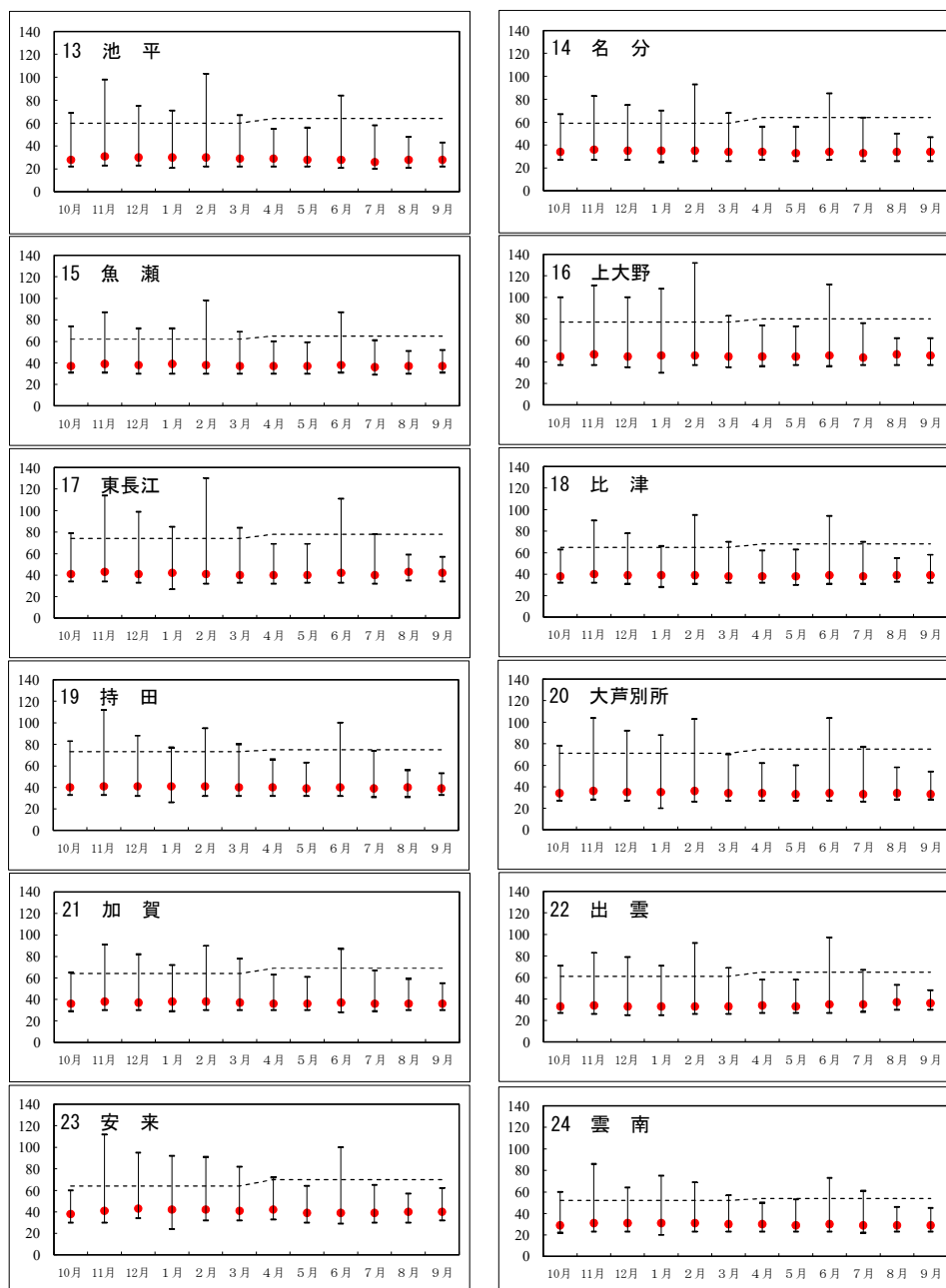
島根県

全ての地点で「平常の変動幅（上限）」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

---平常の変動幅の上限

● 最大値
● 平均値
● 最小値





* 「平常の変動幅の上限」は前年度までの5年間（移設等があった場合は2年間以上）のデータを統計処理した範囲の最大値

環境試料中の放射能（令和5年10月～令和6年9月）

一部の試料から過去の大気圏内核実験などによるものと思われる微量の放射能を検出しましたが、**島根原子力発電所による影響は認められませんでした。**

試料名		測定 試料 数	対象γ線放射性核種 (⁵⁴ Mn・ ⁵⁹ Fe・ ⁵⁸ Co・ ⁶⁰ Co・ ¹³⁴ Cs・ ¹³⁷ Cs・ ¹³¹ I)※1 セシウム-137以外は不検出		それ以外の放射性核種(³ H・ ⁹⁰ Sr)※2		単位
			セシウム-137 ¹³⁷ Cs	ヨウ素-131 ¹³¹ I	トリチウム ³ H	ストロンチウム90 ⁹⁰ Sr	
浮遊塵		36	ND				μBq/m ³
大気水		24			ND～9.8		mBq/m ³
海水		16	1.0～1.8		ND(Bq/l)	ND	mBq/l
陸水	池水	7	ND		280～400		
	水道原水	4	ND			1.3	
牛乳	原乳	6	ND	ND		ND(Bq/kg(生))	Bq/kg (生)
植物	松葉	4	ND	ND		5.9	
農産物	大根	3	ND				
	キャベツ	2	ND				
	ほうれん草	4	ND	ND		0.08	
	精米	2	ND	ND			
	茶	2	ND	ND		0.14	
海産生物	なまこ	2	ND				
	かさご	1	0.07			ND	
	さざえ	肉	ND～0.04			ND～0.05	
		内臓	ND				
	むらさきいがい	7	ND				
	岩のり	1	ND				
	あらめ	6	ND～0.11	ND		0.05	
	ほんだわら類	9	ND～0.07	ND			
	わかめ	2	ND	ND		ND	
陸土		5	ND～1.1			1.1	Bq/kg (乾土)
海底土		3	ND				

※1: マンガン-54(⁵⁴Mn)、鉄-59(⁵⁹Fe)、コバルト-58(⁵⁸Co)、コバルト-60(⁶⁰Co)、セシウム-134(¹³⁴Cs)、セシウム-137(¹³⁷Cs)、ヨウ素-131(¹³¹I)を、通常対象核種として測定をしています(ヨウ素-131は一部の試料のみ測定)。

※2: トリチウム、ストロンチウムについては、一部の試料について測定しています。

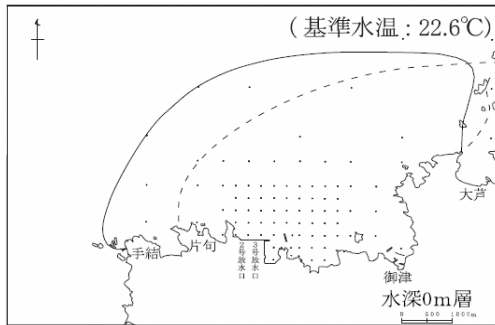
温排水調査結果（令和5年10月～令和6年9月）

調査結果を検討・評価したところ、**異常は認められませんでした。**

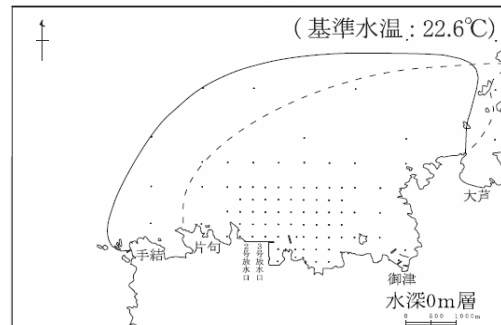
調査は、水温（①沖合定線、②格子状定線、③沿岸定点）、水色について行っていますが、ここでは、格子状定線の調査結果の概要をお知らせします。

——— 島根原子力発電所2号機修正環境影響調査書より
 - - - - - 島根原子力発電所3号機環境影響評価書より

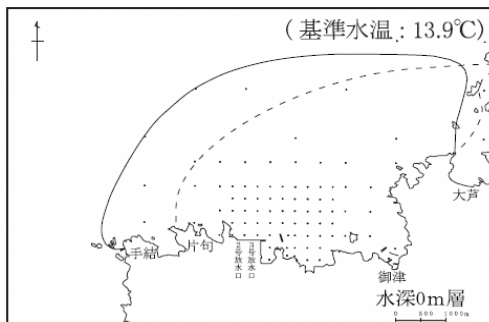
■ 基準水温より1℃以上高い水温上昇域
 ■ 基準水温より2℃以上高い水温上昇域



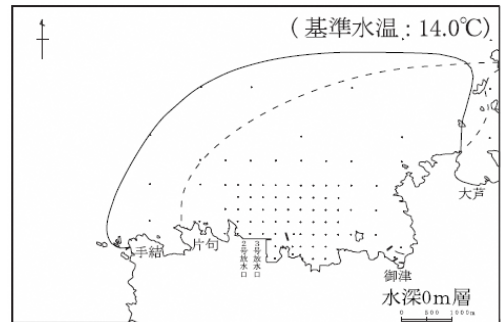
令和5年度第3四半期－1回目
 (令和5年11月1日 9時30分～11時28分)



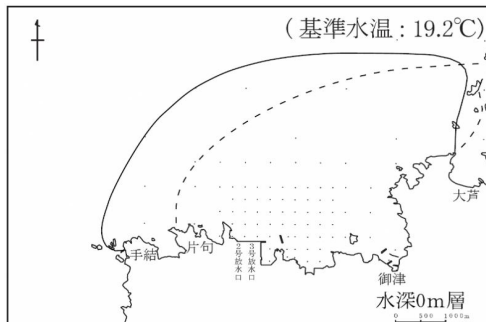
令和5年度第3四半期－2回目
 (令和5年11月1日 12時00分～13時32分)



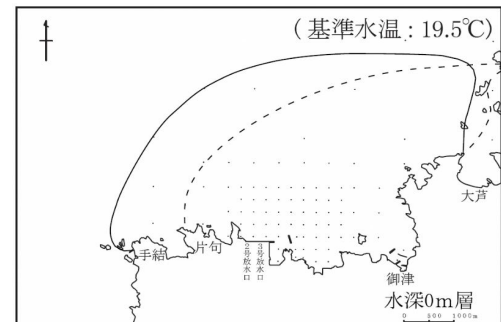
令和5年度第4四半期－1回目
 (令和6年2月15日 9時30分～11時46分)



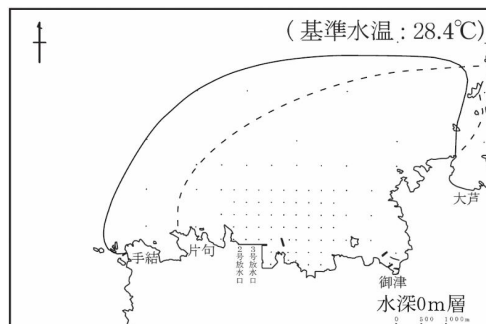
令和5年度第4四半期－2回目
 (令和6年2月15日 12時15分～13時57分)



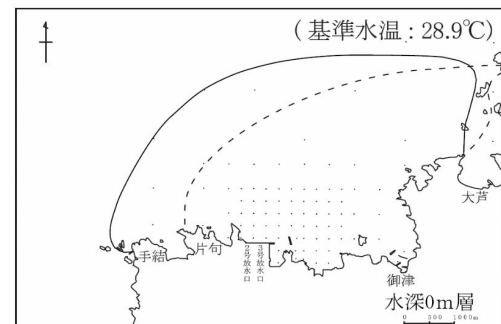
令和6年度第1四半期－1回目
 (令和6年5月30日 9時30分～11時17分)



令和6年度第1四半期－2回目
 (令和6年5月30日 13時30分～15時14分)

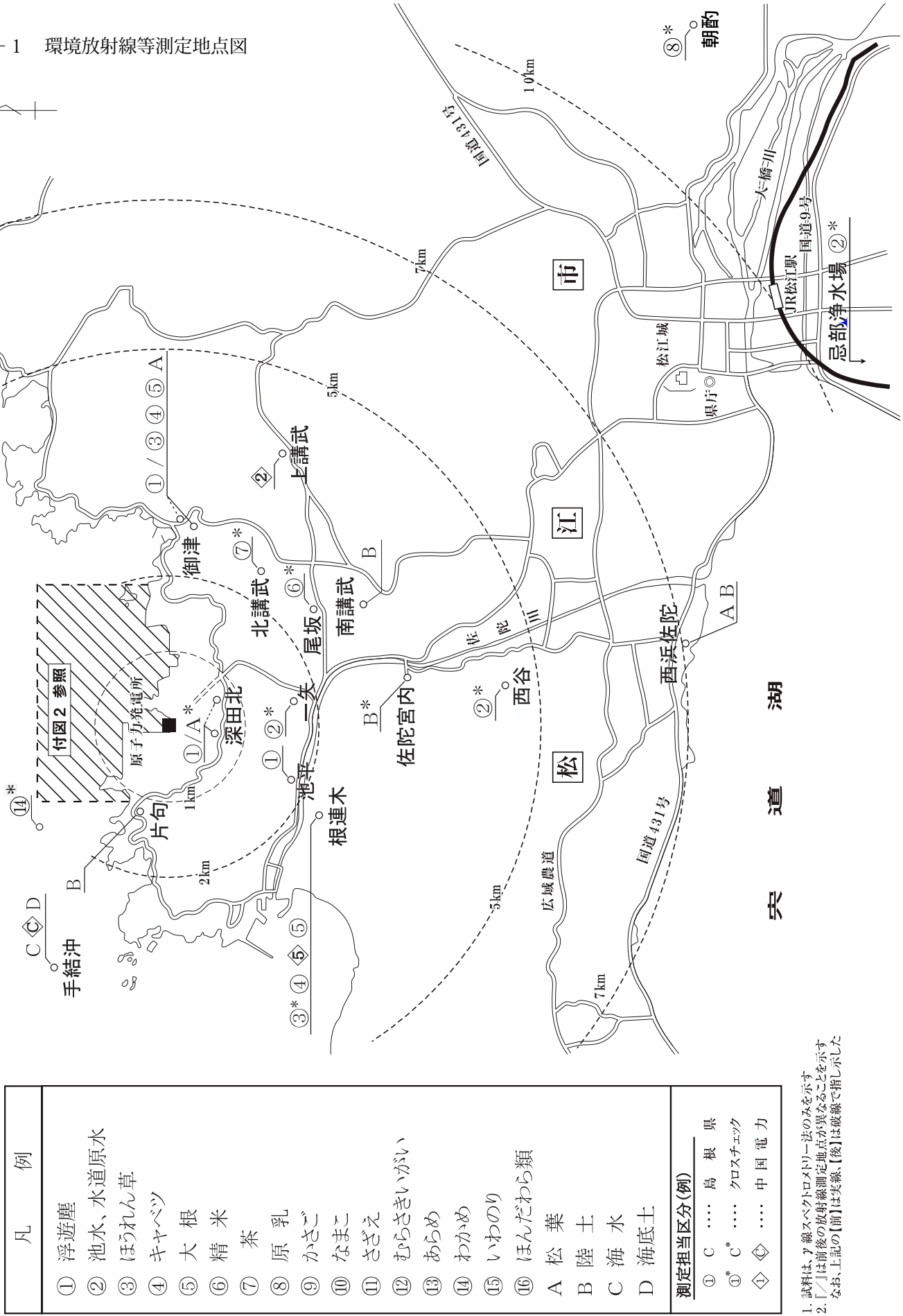


令和6年度第2四半期－1回目
 (令和6年9月12日 9時30分～10時58分)



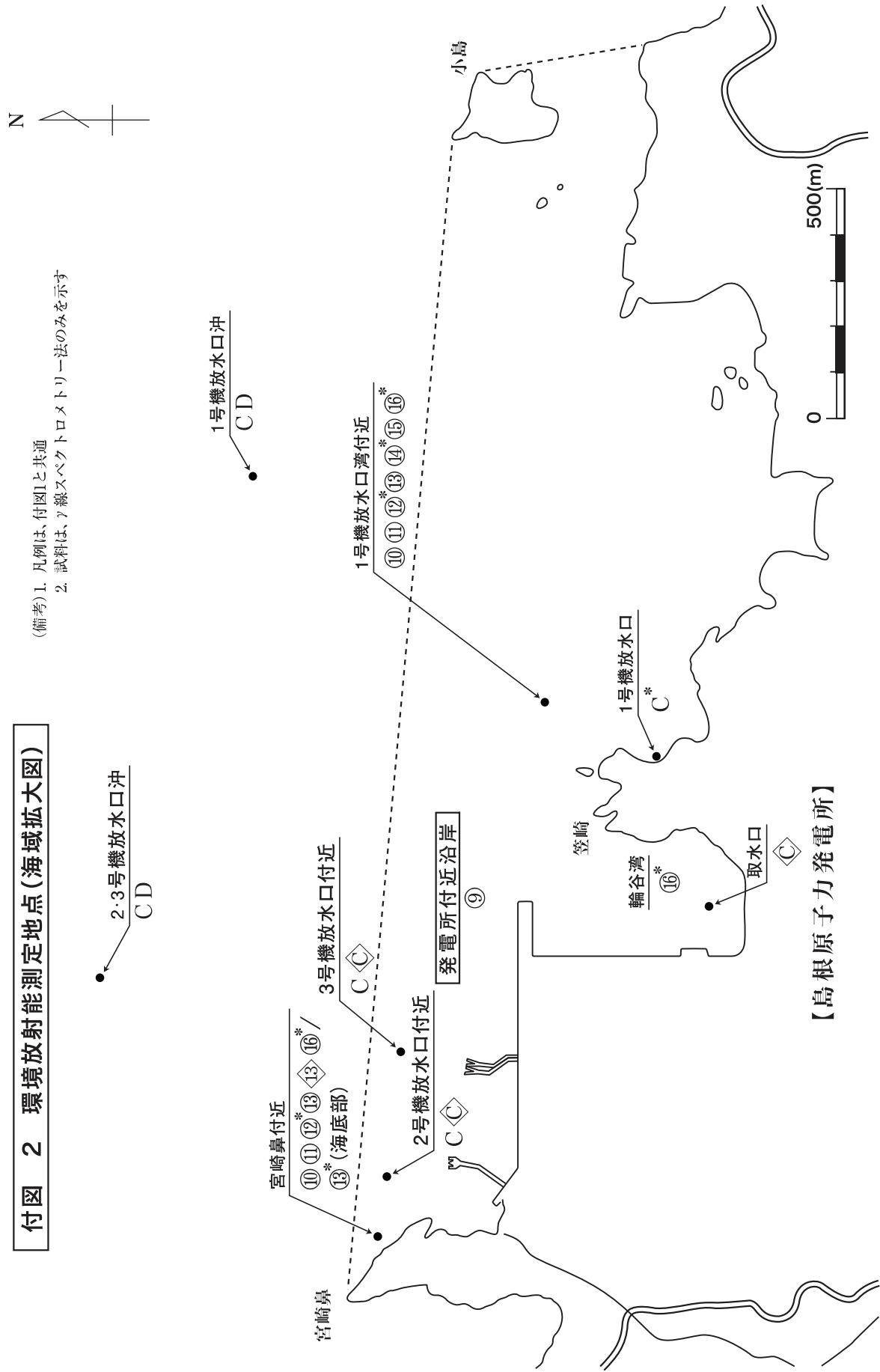
令和6年度第2四半期－2回目
 (令和6年9月12日 13時30分～14時54分)

付図1 環境放射線等測定地点図



(備考) 1. 試料は、7 線スペクトロメリー法のみを示す
2. 「/」は前後の放射線測定地点が異なることを示す
なお、上記の【前】は実線、【後】は破線で指し示した

付図 2 環境放射能測定地点(海域拡大図)



【島根原子力発電所】

(備考) 1. 凡例は、付図1と共通
2. 試料は、γ線スペクトロメトリ法のみを示す

付図 3 モニタリングポスト配置図

